

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 2010年度事業報告書
2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)

日本の子どもの7人に1人が貧困にあると言われ、昨年度は児童虐待による子どもの死亡事件が数多く報道されました。神奈川は、児童虐待相談件数、不登校児童生徒数は最多、保育園の待機児童数は上位となっています。そうした中、神奈川子ども未来ファンドでは、生きづらさを抱えた子どもや若者を理解し、支える人のつながりを強めていくことに、重点を置き活動しました。

朗読劇「ハッピーバースデー」は、「川崎市子ども権利条例」制定10周年となる川崎で実行委員会を組織して実施、他NPOとの連携による学習会の開催、企業とNPOの連携促進ネットワーク、NPOデータベースや動画、冊子制作など広報活動に努めました。

寄付金収入が厳しい状況が続く中、8度目のNPO助成は、7団体へ総額2,820,000円を助成しました。継続して子どもの支援を行うために、準会員制度を創設し、入会を呼びかけると同時に、ファンドの事務局体制や事業構造の見直しも進めました。

3月に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが被災しました。連日の報道に接した全国の子どもたちの心にも、大きな不安の影を落としています。神奈川子ども未来ファンドでは、被災地から神奈川へ避難してきた子ども・若者や親に対し、県内のNPOができる支援の情報を集め、提供する取り組みを行いました。

【2010年度事業の概要】

1. **会員の募集** 準会員制度の創設(新規加入66名)
正会員71名、子ども応援会員175名・組織(自動払込会員51名含)
2. **寄付の募集** 受け入れ 寄付金総額4,175,760円
3. **NPOへの助成・技術支援**
 - (1)2010年度助成贈呈式・報告会の開催(2010年6月13日開催)
 - (2)2010年助成対象団体への技術支援(2010年助成対象で支援を希望した3団体)
 - (3)2011年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催
 - (4)2011年助成対象団体の選考と助成(7団体、助成総額2,820,000円)
 - (5)過去の助成対象団体へのアンケート調査の実施
 - (6)外部の助成プログラムの選考強力(全労済地域貢献助成事業、Panasonic NPOサポートファンドなど)
4. **公演・講演会事業**
 - (1)朗読劇「ハッピーバースデー」2010川崎公演の開催(2010年11月27日開催)
 - (2)子どもや若者、子育てを理解し、支えるための講座(子どもとつくる未来フォーラムへの参画)
 - (3)各種協議会等への参加(各種会議12件、講師対応20件)
5. **ネットワーク事業**
 - (1)かながわ子どもいきいき応援フォーラムの開催(2回。9/30、11/19)
6. **調査研究事業**
 - (1)子ども・若者や子育てを支えるNPOの紹介動画制作(横浜市委託事業)
 - (2)NPOと企業の連携促進のための冊子作成(神奈川県委託事業)
7. **広報事業**
 - (1)東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援NPOの支援情報収集と発信
 - (2)企業向けNPOデータベースの開設
 - (3)メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッターによる情報発信
 - (4)WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営
 - (5)広域への情報発信・PR活動(ラジオ出演1件、新聞タウン誌等報道17件、イベント等参加18件)
 - (6)NPOの情報発信支援(PRスキルアップ講座の開催。全2回11/10、11/17)
8. **組織運営、基盤強化に関する取り組み**
 - (1)神奈川子ども未来ファンド中期検討会議の開催(全4回)と事務局体制見直し
 - (2)通常総会、理事会(7回)、臨時理事会、運営委員会(16回)の開催
 - (3)各種インターン(SSCS、夏季、職業訓練)、若者の社会体験ボランティアの受け入れ

1 会員の募集

(1) 準会員制度の創設

神奈川県子ども未来ファンドの趣旨に賛同しファンドを支える会員として、新しく設置した「準会員」を中心に、会員制度の広報に努め、入会を呼びかけ、準会員には、企業個人含めて、66口のご支援が集まりました。子ども・若者や子育てを支える活動の継続した支援とファンドの運営基盤強化の観点からは、一層の会員増が必要です。

【2011年3月31日時点の会員数】

正会員	71名（前年度60名 比+11名）
準会員【新】	66名（新設）
子ども応援会員	175名・組織（前年度123名 +1名 自動払込会員51名含）

2. 寄付の募集 受け入れ

(1) 2010年度の寄付受け入れに関する各種協力

学校での募金取り組みからの寄付や、寺院での年末年始の参拝客に呼びかけた寄付プログラムなど新たな支援の形態でご寄付をお寄せいただきました。また、昨年から継続した支援として、企業、業界団体からの寄付、横浜Fマリノスのファン感謝デーでの募金活動等のご支援をいただきました。

(2) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

◆ 一般寄付金総額	: 4,175,760円（前年比 △68,645円）
◆ ファンド支援寄付金総額	: 229,132円（前年比 △676,948円）
◆ 協賛金総額	: 2,434,290円（前年比 353,990円）
◆ 寄付協力組織数	: のべ 57件
◆ 協力個人数	: のべ 156名

【一般寄付金の内訳】

補助科目	金額	割合	協力個人数	協力組織数
企業からの寄付	1,349,752	32.3%		9
個人寄付	483,107	11.6%	58	
奉仕組織・NPO等からの寄付	480,490	11.5%		
歳末寄付	390,000	9.3%	22	5
ゆうちょ銀行口座からの自動払込寄付	259,500	6.2%	51	
職域での募金、チャリティプログラム	252,578	6.0%		3
オンライン寄付(クレジットカード・ネット銀行)	228,700	5.5%	24	
イベントを通じた寄付	207,827	5.0%		9
応援商品寄付	182,222	4.4%	1	5
募金箱	148,061	3.5%		23
寺院からの寄付	99,000	2.4%		1
学校からの寄付	80,000	1.9%		1
マイバック寄付プログラム	14,523	0.3%		1
合計	4,175,760	100%	156	57

3. NPOへの助成・技術支援

(1)2010 年度助成贈呈式・報告会の開催

助成対象になった事業の紹介と、終了した助成事業の成果を広く広報することを目的に実施しました。

【2010 年助成贈呈式・報告会】

開催日程： 2010 年 6 月 13 日（日）13 時～16 時

会 場： 神奈川県立青少年会館別館 青少年サポートプラザ 2F 会議室

内 容： 2010 年助成対象団体紹介・贈呈式、2009 年助成活動報告

(2)2010 年助成対象団体への技術支援

助成対象団体に、助成金を効果的に活用してもらうことを目的に行い、団体の希望に応じて、専門家とファンド事務局が団体を訪問し相談に応じました。

対 象： 2010 年神奈川子ども未来ファンド助成対象団体(うち希望した3団体)

【相談対応をいただいた専門家】

青木将幸氏(青木将幸ファシリテーター事務所、国際青年環境 NGO・A SEED JAPAN 理事)

(3)2011 年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催

各方面の専門家による2011年神奈川子ども未来ファンド助成選考委員会を設置し、2011年助成を県内NPOへ広く広報しました。応募受付期間中は、個別団体からの事前相談に応じました。

また、今年度は、助成説明会を助成金講座とともに開催しました。

【2011 年助成選考委員】

委員長	： 渡邊 宣昭氏	(横浜植木株式会社代表取締役)
副委員長	： 渡辺 誠二氏	(一般社団法人ロータリーの友事務所所長)
委員	： 富樫 匡孝氏	(自立生活サポートセンター・もやいスタッフ)
	新井 聡子氏	(横浜弁護士会子どもの権利委員会委員)
	おちとよこ氏	(ジャーナリスト、絵本児童書作家、高齢者問題研究家)

【2011 年助成説明会】

日 時： 2010 年 11 月 9 日(火)19 時～21 時半

場 所： かながわ県民活動サポートセンター

参加者： 14 名

内 容： <第1部:助成金講座> 19:00～20:00 助成金申請のポイント

講 師 米田佐知子(神奈川子ども未来ファンド事務局長)

参加費 1,000 円

<第2部:助成説明会> 20:10～21:30 神奈川子ども未来ファンド助成について

応募のための要件 / 助成が決まるまでと助成を受けてからの流れ

助成団体限定で利用できる運営支援について / 事前相談について

※終了後に、個別相談会を実施

(4)2011 年助成対象団体の選考と助成

20 団体から応募（応募総額 14,050,000 円）があり、2011 年神奈川子ども未来ファンド助成選考委員会の選考に基づき、総額 2,820,000 円を助成することを決定し、助成を行いました。

【2011 年助成選考委員会開催日時】

日 時： 2011 年 3 月 4 日（金）13 時～17 時半

場 所： かながわ県民活動サポートセンター会議室

【2011年助成対象団体一覧】 助成総額 2,820,000円

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	(特)子どもセンターてんぽ 【継続助成】	<子どものシェルター> 居場所のない子どもの電話相談事業	横 浜	500,000
2	(特)ひだまりの森 【継続助成】	<子育て支援> 「ひだまりの森 子育て期の相談」 環境再整備事業	横 浜	360,000
3	(特)ピアわらべ 【継続助成】	<子育て支援> 法人事務局の拡充	横 浜	430,000
4	エスコラ アクアレラ ブラジル 【継続助成】	<外国籍児童の学習支援> エスコラ アクアレラ ブラジル さくら教室	厚 木	800,000
5	音楽療法 ぐるーぷ響	<障がい児支援> 音楽療法のための環境整備	厚 木	400,000
6	学童保育スキップ鷺沼保護者会	<学童保育> 自主学童保育パワーアップ事業	川 崎	130,000
7	(社福) 杜の会	<児童養護施設の学習支援> 児童養護施設「杜の郷」算数教室及び 個別支援家庭教師事業	横 浜	200,000

(5) 過去の助成対象団体へのアンケート調査の実施

2004年助成以降、7回の助成を受けた団体を対象にアンケートを実施しました。助成の成果、神奈川子ども未来ファンド助成の公募広報、事務局の対応、支援プログラム、助成金使途の自由度や上限額設定、事業報告などについての意見を集約しました。各項目におおむね満足していると回答が得られ、新ためて助成の成果を確かめることができました。

実施時期:2010年11月上旬

送付総数:20団体(2009年助成対象団体まで・2010継続団体は対象外)

回答総数:12団体(回収率60%)

(6) 子ども分野の外部助成プログラムへの選考協力

全労済地域貢献助成事業の子ども分野プログラムの予備審査作業の請け負い、Panasonic NPOサポートファンド子ども分野助成選考などに協力しました。

4. 公演・講演会事業

(1) 朗読劇「ハッピーバースデー」2010 川崎公演の開催

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年引き続き、様々な組織のご協力、ご協賛を得て「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演」を川崎で開催しました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演 2010 川崎】

公演日時：2010年11月27日(土)2回公演(昼13時～、夕17時～)
会場：川崎市多摩市民館(908名定員) 川崎市多摩区登戸1775-1
主催：朗読劇「ハッピーバースデー」川崎公演実行委員会、
(特)神奈川子ども未来ファンド、(有)オフィス・デュオ、(株)tvkコミュニケーションズ
出演：内海賢二、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、名塚佳織、安武みゆき、代永翼、
小橋知子、遠藤大智、岩居由希子、小平有希、西郷由香、秦直樹
演出：二瓶紀六
制作：(有)オフィス・デュオ
原作：『ハッピーバースデー』(青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊)
チケット：3,000円(全席指定)

□観客動員

総動員数：約1,300名(親子招待200名含)
運営ボランティア：110名

□募金総額：918,664円(会場募金100,435円、書籍チャリティ販売収益51,011円含)

□親子招待：100組200名を、公募により招待。(昼40組・夕60組)
公募は、川崎市立小中学校全児童生徒、一部の川崎市立私立学校への案内チラシ配布のほか、WEBを通じてよびかけ。2010年7月16日締切、応募総数は545通。8月2日に抽選を実施し招待者を決定。

□会場展開

- 1) バースデーメッセージ：
出演者、主催関係者、川崎フロンターレ選手から子ども達へのメッセージ掲出
川崎フロンターレ選手(敬称略)：
稲本潤一、中村憲剛、黒津勝、田坂裕介、井川祐輔、菊地光将、谷口博之(7名)
- 2) 神奈川の子ども・子育て支援団体展示
川崎公演実行委員会参加団体4団体、神奈川子ども未来ファンド助成対象団体8団体
- 3) 原作本、関連書籍のチャリティ販売、原作者サイン会
- 4) 神奈川子ども未来ファンドへの寄付、募金活動、入会キャンペーン※
※会場での入会者に朗読劇全出演者のサイン入りプログラムを提供

□広報

- 1) 掲載記事：16件
 - ①実行委員関係団体各種広報紙(ままとんきっず、フリースペースたまりば、ぐらすかわさき)
 - ②声優「アニメディア」8月号(7月10日発売)告知掲載
 - ③毎日新聞記事掲載(8/3付)
 - ④読売新聞記事掲載(8/26付)
 - ⑤タウンニュース等 依頼中
 - ⑥朝日新聞 かながわマリオン(11/3付)
 - ⑦稲田ニュース
 - ⑧神奈川新聞(10/17付)「K-PERSON」野村道子さん紹介

- ⑨神奈川新聞 I バザール (プレゼントコーナー) (11/4 付)
- ⑩東京新聞 (10/14 付)
- ⑪川崎市文化財団「KAWASAKI ART NEWS」10月号
- ⑫タカシマヤ通信販売誌『イマコレ!』11月号
- ⑬くらしの窓
- ⑭神奈川新聞 (11/13 付)
- ⑮毎日新聞 (10/21 付コラム「きつと、だいじょうぶ」)
- ⑯毎日新聞 (11/15 付)

2) 紹介メディア : t v kでのCM放送 (約5ヶ月間)・みなとみらいビジョン (3ヶ月間)でのCM放送の他、
3回のt v k告知、地域FM (かわさきFM) 告知

3) チラシ制作枚数 : 184,000枚 (川崎市立小中学校、市内の一部私立学校での生徒・児童生徒チラシ配布分含)

4) ポスター制作枚数 : 500枚

□協 賛 等 (敬称略)

協 力: (有)オフィス・アオキ、(株)賢プロダクション、関内ホール、(株)金の星社

助 成: (財)神奈川新聞厚生文化事業団、川崎市子どもの権利条例市民企画事業助成、
(財)こども未来財団

協 賛: (株)川口、アルテリッカ 2010 実行委員会、(特)子ども未来じゅく、アフラック首都圏総合支社、
タカナシ乳業(株)、(株)ありあけ、(株)シモジマ、エバラ食品工業(株)、(有)オフィス・アオキ、(株)
t v kコミュニケーションズ、日本電気(株)、(株)京急百貨店、(株)ポンパドウル、キリンビール(株)
横浜支社
JAセレサ川崎、(株)クラチ、キーコーヒー(株)横浜中央営業所、(株)ガトーよこはま、(株)ダイイチ、
(株)近澤レース店、横濱元町霧笛楼、(株)荒井屋、(有)フクゾー洋品店、(株)キタムラ・ケイツウ、
(有)柿生恒産(鈴木憲治)、(有)吉澤石材店、(株)ジャックスインク、(株)阿部石材店、手塚電気工事
(株)、(有)望星、(株)久保田酒店、(株)石橋斎場、(有)オートフォースト、(株)八洲、(有)宮原商店、
(株)町山事務機、日本理化学工業(株)、野口税務会計事務所、土地家屋調査士後迫事務所、蕎
麦酒房「笙」、(有)カイショー、学生服のトバリ、東京 JAPAN 税理士法人、川崎多摩ロータリークラブ、
横浜ロータアクトクラブ、多摩防犯協会、多摩人、修廣寺、長念寺、稲毛神社、LET'S 国際ボラン
ティア交流会、連合神奈川、全労済神奈川県本部、川崎地域連合、川崎労働者福祉協議会、自治労
神奈川県本部、神奈川県教職員組合、川崎市教職員組合、川崎市職員労働組合、自治労神奈川
県職員労働組合、川崎水道労働組合、全水労神奈川県支部、富士通労働組合 R&D 支部、佐藤寿
信、山田悦子、高取靖、江成幸枝、秋間長吉、原田弘、青木和雄、吉富多美、匿名数名

後 援 : 川崎市、神奈川県、川崎市教育委員会、神奈川県教育委員会、川崎市PTA連絡協議会、神奈川
県PTA協議会、川崎市公立小学校校長会、川崎市公立中学校校長会、(財)川崎市文化財団、川
崎商工会議所、(財)川崎市生涯学習財団、川崎市総合文化団体連絡会、(社)川崎市商店街連合
会、(社)川崎青年会議所、(株)川崎フロンターレ、(社福)川崎市社会福祉協議会、(社福)神奈川
県社会福祉協議会、川崎市民生委員児童委員協議会、(社)神奈川県青少年協会、(財)横浜
YMCA、横浜弁護士会、川崎市教職員組合、川崎市職員労働組合、川崎労働者福祉協議会、川
崎地域連合、神奈川県教職員組合、(株)テレビ神奈川、神奈川新聞社、朝日新聞川崎支局、
毎日新聞社川崎支局、読売新聞社川崎支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞川崎支局、かわ
さきFM、FMヨコハマ、アール・エフ・ラジオ日本

(2) 子どもや若者、子育てを理解し、支えるための講座

生きづらさや困難を抱える子どもたちの課題を広く発信し、課題解決に貢献するための講座として、他団体と連携し、下記の口座の企画運営に参加、共催などを行いました。

1) 子ども・子育て新システム緊急学習会「子ども・子育て新システムで何が変わるの？」(共催)

日 時: 2010年9月3日(金)9時半～12時

場 所: かながわ県民活動サポートセンター会議室

講 師: 奥山千鶴子氏(につぼん子育て応援団、神奈川子ども未来ファンド運営委員)

主 催: につぼん子育て応援団、よこはま万人子育てフォーラム

共 催: 神奈川子ども未来ファンド

参加者: 50名

2) 第2回子どもとつくる未来フォーラム NPO発かながわの子どもは今

日 時: 2010年9月25日(土)13時～16時半

場 所: 全国共済馬車道プラザ・みらい 地下ホール

主 催: 子どもとつくる未来フォーラム

NPO 法人エンパワメントかながわ

NPO 法人神奈川子ども未来ファンド

NPO 法人子どもセンターてんぼ

NPO 法人ジェントルハートプロジェクト

NPO 法人フリースペースたまりば

NPO 法人よこはまチャイルドライン、かわさきチャイルドライン

参加者: 40名

3) 子ども・若者育成支援推進法学習会「知っておきたい 子ども・若者育成支援推進法」(企画運営参加)

日 時: 2010年11月4日(木)19時～21時

場 所: 神奈川県立青少年センター別館 青少年サポートプラザ

講 師: 伊藤信氏(内閣府参事官青少年企画担当・政策統括官 共生社会政策担当)

主 催: 子どもとつくる未来フォーラム(神奈川子ども未来ファンド企画、運営参加)

参加者: 50名

(3) 各種協議会等への参加(各種会議 12 件、講師対応 20 件)

昨年に引き続き「神奈川フリースクール・フリースペースNPOネットワーク」「神奈川県こども・子育て支援推進協議会」等の各種会議へ参加しました。

ほかに、ファンド理事・事務局等が、神奈川子ども未来ファンドとして 2010 年度に対応した講師依頼や各種審議会・委員会は、次の通り

【講師・パネリスト等】

さわやか福祉財団寄付文化普及研究会事例報告 (2010年6月22日)

立教大学公開講座シンポジウムパネリスト (2010年6月26日)

子育てまち育て塾シンポジウムコーディネイター (2010年7月3日)

神奈川県高等学校教育会館 教職員のための夏季教育講座 (2010年8月5日6日)

かながわ女性会議主催 DV被害者支援団体のための助成金ガイド&申請ワークショップ講師 (2010年9月4日)

横浜市体育協会主催 横浜市地域クラブアシスタント養成講座講師 (2010年9月15日)

日本NPOセンター主催 市民セクター全国会議プレ企画講師 (2010年9月30日)

神奈川県主催 かながわコミュニティカレッジ講師 (2010年10月13日)
iSB公共未来塾・横浜 講師 (2010年11月2日)
横須賀市主催 横須賀市市民協働推進セミナー講師 (2010年11月6日、11月13日)
日本NPOセンター主催 市民セクター全国会議分科会講師 (2010年11月23日)
平塚市主催 NPO資金調達セミナー講師 (2011年1月14日)
茨城NPOセンター・コモンズ主催フォーラム講演 (2011年1月15日)
横浜知的障害関連施設協議会人権講演会 (2011年1月28日)
埼玉県主催 NPOマネジメントセミナー講師 (2011年2月2日)
日本ファンドレイジング協会主催 ファンドレイジング日本 2011 分科会ファシリテーター
(2011年2月5日-6日)
日本NPOセンター主催「NPOと行政の対話フォーラム '11」分科会パネリスト
(2011年2月17日)
港南台タウンカフェ主催シンポジウム「地域で育つ子どもたち」基調講演・コーディネイター
(2011年2月20日)
神奈川県 NPO法人に対する寄附促進仕組みづくりに関する検討委員会報告(2011年3月16日)

【各種審議会・委員会】

神奈川の協働を推進する県民会議
バリアフリーの街づくり推進県民会議
横浜市児童福祉審議会委員
横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員
働きやすく子育てしやすい横浜の企業認定委員会委員
横浜市親と子のつどいの広場運営協議会委員
横浜市ボランティアセンター運営委員
神奈川県高等学校教育会館評議員
Panasonic NPOサポート ファンド審査委員
横浜市総合型地域スポーツクラブ補助金審査委員
関東運輸支局バリアフリーネットワーク会議委員
たすけあい未来ファンド運用検討プロジェクト委員

5. ネットワーク事業

(1) かながわ子どもいきいき応援フォーラムの開催

企業8社、NPO16団体、行政4自治体から参加を得て、多様な主体が、子ども・若者支援、子育て支援の活動で連携するために検討の会合を開きました。子ども・若者や子育てを取り巻く状況についての勉強会、連携事例の紹介を行ったほか、連携促進のために必要な情報発信の内容やあり方、共同で取り組める活動について意見交換を行いました。

① 第1回

日時 : 2010年9月30日(木) 15時~17時
場所 : 神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ
テーマ : 子育ての現状・支援について
講師 : 奥山千鶴子氏 (NPO法人びーのびーの理事長)
助言者 : 影山摩子弥氏 (横浜市立大学CSRセンターLLP センター長)
内容 : 株式会社ファンケル/子育て両立支援の各種制度や地域貢献活動の紹介
神奈川県農西部・JA横浜/県・JA・NPO や大学と連携した食農教育について紹介
出席組織の自己紹介と意見交換

② 第2回

日時 : 2010年11月19日(金) 15時~17時
場所 : かながわ県民活動サポートセンター
テーマ : 若者の現状・支援について
講師 : 岩永牧人氏 (NPO法人ユースポート横濱理事長)
助言者 : 影山摩子弥氏 (横浜市立大学CSRセンターLLP センター長)
内容 : 企業・NPO・行政が、子ども・子育て支援活動で連携するために必要な情報発信について (意見交換)

③ 第3回

2011年3月14日開催を予定していましたが、東日本大震災の影響で延期となりました。

6. 調査研究事業

(1) 子ども・若者や子育てを支えるNPOの紹介動画制作(横浜市子ども青少年局企画調整課委託事業)

子ども・若者や子育て支援のNPOの信頼性向上と企業等との連携素地づくりとしてNPOの状況を身近に伝える団体紹介動画を制作し、NPOとの連携に関心を持つ企業へのDVDの配布、WEBサイトでの提供を行いました。

【企業の地域貢献活動にむけて～子ども・若者支援・子育て支援NPOをパートナーに～】

15分でわかる 子ども・若者、子育て支援NPO紹介ムービー

<http://www.kodomofund.com/portal/Douga.htm>

内 容： NPOとは（活動形態の多様性、専門性について）
様々なテーマ・形態のNPO紹介（10団体）
NPOと企業の連携のために

(2) NPOと企業の連携促進のための冊子作成(神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課委託事業)

子ども・若者や子育て支援のNPOの信頼性向上と企業等との連携を進めるための啓発冊子を作成しました。

【子ども・子育て支援NPOと企業との連携・ネットワーク 促進ガイドブック】

発行総数： 1,200部（うち約800部をかながわ子育て応援団登録事業所へ送付）

内 容： 座談会（企業、NPO関係者、学識者による）
NPOと企業の連携事例紹介（9事例）
参考資料・データ

7. 広報事業

(1) 東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援NPOの支援情報収集と発信

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際し、県内NPOによる取り組みの情報収集と発信、被災地支援の募金活動等の広報支援を行いました。また、被災地から神奈川県内へ避難してきた子ども・若者や乳幼児親子に対し、県内のNPOによる支援活動の情報を避難所で提供しました。

(2) 企業向けNPOデータベースの開設

子どもの居場所情報を検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱（以下「情報箱」）」は、情報の更新に努めました。また、「子どもの居場所情報箱」登録団体に対し、企業連携の意向調査を行いました。その結果を基に、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの連携促進を目的とした「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」も新規開設しました。

◆データベース「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」

http://kodomofund.com/search/kensaku_index.htm

(3) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッターによる情報発信

年4回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や、寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを行いました。また、ブログやツイッターを活用した、日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めました。

- ◆ メールマガジン 月間+特別号 計13回発行
- ◆ 広報紙「ハンズ to ハンズ」26号～29号を発行
26号(4,000部)、27号(2,500部)、28～29号(各2,000部)
- ◆ ブログ <http://blog.canpan.info/kodomofund/> (年間18,270カウント)
- ◆ ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>

(4) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

1) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

昨年度に引き続き、神奈川子ども未来ファンドWEBサイト・携帯モバイルサイト、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの情報交流を目的としたポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」を運営し、子ども・若者や子育ての支援を行うNPOの活動情報、各種非営利イベント情報、NPOを対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めました。

- ◆ WEBサイト 年度末カウント数(2011年3月31日現在)140,709(年間31,175カウント、)
- ◆ ポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」<http://www.kodomofund.com/portal/>

2) 地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクトへの参加

NPOへの支援や連携、利用を促していくために、NPOの信頼性を高める取組みとして、全国の約20の中間支援組織が連携して各地で設置を進める地域・公益ポータル推進プロジェクトの全国会議、関東ブロック会議に今年度も引き続き参加しました。

- ◆ 全国会議 : 2010年11月7日(日) 日本財団ビル会議室
- ◆ 関東ブロック会議: 2010年8月29日(日) 栃木県日光市

(5) イベント・キャンペーンでのPR活動

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合等にファンドの認知が高まるよう取り組みました。

【展示・広報・出店等での参加】

1) 第81回かながわ中央メーデー

開催日程： 2010年4月29日（木）
会 場： みなとみらい臨港パーク（横浜市西区）
参加内容： 活動紹介、募金活動、ボーリングミニゲーム
主 催： 同実行委員会（事務局連合神奈川）

2) モトスミ・ブレーメン通り商店街 子どもの日チャリティイベント

開催日程： 2010年5月5日（水）
会 場： モトスミ・ブレーメン通り商店街（川崎市中原区）
参加内容： 商店街オリジナルグッズの販売、チャリティバザー、
ボーリングミニゲーム、活動紹介、募金活動
主 催： モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

3) 2010児童労働撲滅キャンペーンin神奈川

開催日程： 2010年5月30日（日）
会 場： 横浜そごう正面玄関前広場（横浜市西区）
参加内容： 広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布
主 催： NTT労働組合

4) 第29回横浜開港祭

開催日程： 2010年6月2日（水）
会 場： みなとみらい臨港パーク 円形プラザ（横浜市西区）
参加内容： 広報パネル展示、活動紹介、募金活動
主 催： 横浜開港祭協議会

5) 横浜パパ&ファミリーフェスタ with トツキトウカYOKOHAMA

開催日程： 2010年7月11日（日）
会 場： クイーンズスクエア横浜 1Fクイーンズサークル（横浜市西区）
参加内容： メッセージボード作成、活動紹介、募金活動
主 催： 横浜市こども青少年局 トツキトウカ横浜実行委員会

6) 0さいからのちいさなコンサート ひよこ♪コンサート

開催日程： 2010年7月15日（木）
会 場： 杉田劇場（横浜市磯子区）
参加内容： 活動紹介、募金活動
主 催： 杉田劇場

7) かながわ子育てポジティブキャンペーンin横浜

開催日程： 2010年7月19日（月）・20日（火）
会 場： 横浜そごう正面玄関前広場（横浜市西区）
参加内容： 広報パネル展示、活動紹介
主 催： 神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課
協 力： NPO法人シャーロックホームズ

8) 杉田劇場なつまつり

開催日程： 2010年8月21日（土）
会場： 杉田劇場（横浜市磯子区）
参加内容： 広報パネル展示、活動紹介、募金活動
主催： 杉田劇場

9) フリフリフリマ（青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動）

開催日程： 2009年9月18日（土）
会場： 神奈川県立青少年サポートプラザ（横浜市西区）
参加内容： 飲料販売、ボーリングミニゲーム、募金活動、活動紹介
主催： 同実行委員会

10) モトスミ・ブレーメン通り商店街 フライマーケット

開催日程： 2010年10月3日（日）
会場： モトスミ・ブレーメン通り商店街（川崎市中原区）
参加内容： 商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街オリジナルピンバッジやマイバックのチャリティ販売、活動紹介、募金活動
主催： モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合
協力： モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会

11) YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 2010

開催日程： 2010年10月17日（日）
会場： 横浜港 象の鼻地区（横浜市中区）
参加内容： 広報パネル展示、活動紹介
主催： YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL実行委員会

12) かながわ子ども・子育て支援活動交流フォーラム

開催日程： 2010年10月29日（金）
会場： メルパルクYOKOHAMA（横浜市中区）
参加内容： 広報パネル展示、活動紹介
主催： 神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課

13) ヨコハマWaiWaiフェスタ

開催日程： 2010年11月7日（日）
会場： 横浜大通り公園（横浜市中区）
参加内容： 募金活動
主催： 同実行委員会（事務局横浜市労働者福祉協議会）

14) 第20回ダンボふれあいバザー

開催日程： 2010年11月23日（火）
会場： 作業所ダンボ周辺（横浜市保土ヶ谷区和田町）
参加内容： ブース運営
主催： 地域作業所ダンボ・福祉を考える会

15) 横浜F・マリノス トリコロールランド

開催日程： 2010年12月4日（土）
会場： 日産スタジアム北ゲート・東ゲート前広場（横浜市港北区）
参加内容： ボーリングミニゲーム、募金、PRカード配布
主催： 横浜マリノス株式会社

16) NPO見本市

開催日程： 2010年11月23日（火）
会 場： ホテルグランドパレス（東京都千代田区）
参加内容： 広報パネル展示、活動紹介
主 催： 経済同友会
協 力： NPO法人パブリックリソースセンター

17) 横浜F・マリノス トリコロールランド

開催日程： 2010年12月4日（土）
会 場： 日産スタジアム北ゲート・東ゲート前広場（横浜市港北区）
参加内容： ボーリングミニゲーム、募金、PRカード配布
主 催： 横浜マリノス株式会社

18) 横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ

開催日程： 2011年1月29日（土）
会 場： マリノスタウン（みなとみらい地区 新高島町）
参加内容： ボーリングミニゲーム、釣りゲーム、活動紹介、募金活動
主 催： 横浜マリノス株式会社

(6) 広域への情報発信・PR活動(ラジオ出演1件、新聞タウン誌等報道 17 件、イベント等参加 18 件)

データベース「子どもの居場所情報箱」と神奈川県子ども未来ファンドのPRを目的とする「子ども・子育て応援PRカード」（平成21年度郵便事業(株)年賀寄附金助成事業で制作）を、川崎市内の特定郵便局の協力で、窓口配布を行いました。

【紹介されたメディア】

- 1) 神奈川新聞(2010年6月14日付)
内 容：2011年助成決定と贈呈式開催について
- 2) タウンニュース(2010年6月24日)
内 容：2010年助成決定と贈呈式開催について
- 3) 朗読劇「ハッピーバースデー」川崎公演開催に関する記事 16件(詳細は5ページ記載)
- 4) かわさきFM(2010年11月10日2回放送)
「アクセスかわさき930」朗読劇ハッピーバースデー川崎公演告知
実行委員菅原陽子さん、ファンド事務局の出演

(7)NPOの情報発信支援(PRスキルアップ講座の開催)

NPOの情報開示度、情報発信力を高める支援としてスキルアップ講座（横浜市子ども青少年局委託事業）を開催しました。

【団体を編集するためのスキルアップ講座】

参加団体： 14 団体（のべ 32 名）

参加費： 1,000 円（1 団体 1 回につき）

- 第 1 回 共感を生み出すための団体の情報発信とは
日 時： 2010 年 11 月 10 日（水）18 時半～20 時半
会 場： 横浜市健康福祉総合センター会議室
講 師： いのうえよしお氏（㈱ファンドレックス）
- 第 2 回 活動をいきいきと伝えるためのコンテンツ制作（写真記録等、情報発信のコツ）
日 時： 2010 年 11 月 17 日（水）19 時～21 時
会 場： 横浜市健康福祉総合センター会議室
講 師： 斉藤保氏（港南台タウンカフェ・株式会社イータウン代表取締役）

8. 組織運営、基盤強化に関する取り組み

(1) 神奈川子ども未来ファンド中期検討会議の開催(全4回)と事務局体制見直し

継続して子どもの支援を行っていくための安定的な組織運営を可能にするために、収支構造や課題を把握し、対応を検討するために中期検討会議を設置し、各種事業と事務局体制の見直しを行いました。

【神奈川子ども未来ファンド中期検討会議】

1) 目的

中期(2～3年)の予算に裏打ちされた確実な事業計画と、その結果としての持続可能な組織運営の構築を目的に設置

2) 検討会議委員

- ・川崎あや(神奈川子ども未来ファンド副理事長、運営委員)
- ・桜井陽子(神奈川子ども未来ファンド理事)
- ・杉山治男(神奈川子ども未来ファンド運営委員)
- ・鈴木健一(神奈川子ども未来ファンド理事、運営委員長)
- ・横溝克明(神奈川子ども未来ファンド運営委員)
- ・吉富多美(神奈川子ども未来ファンド理事、運営委員)

3) 検討内容と開催日

① 第1回

日時: 2010年7月14日(水) 19時～21時

場所: 神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

- 内容:
- ・検討会の目的とアウトプット、検討スケジュールの確認
 - ・ファンドの現状把握
 - ・ファンド設立以降の子どもを取り巻く社会状況の変化の確認
 - ・ファンド活動の成果と課題の洗い出し

② 第2回

日時: 2010年8月30日(月) 19時～21時

場所: 横浜市市民活動支援センター

- 内容:
- ・子ども関連NPOを対象とした県内外の類似・競合助成事業の概要把握
 - ・ファンド助成事業の評価と課題(実績、特徴、助成原資の推移、寄付・会費のあり方等)

③ 第3回

日時: 2010年9月22日(水) 19時～21時

場所: かながわ県民活動サポートセンター

- 内容:
- ・ファンド助成事業のあり方検討
 - 助成対象団体へのアンケート結果の確認
 - ・個別事業のあり方検討(収支や優先順位等)

④ 第4回

日時: 2010年10月6日(水) 19時～21時

場所: かながわ県民活動サポートセンター

- 内容:
- ・ファンドの収支構造について

4) 検討・確認した内容

- ① 収支の現状 運営費(固定費)に充てられる収入が構造的に不十分
- ② 75%ルール等、助成原資の考え方
- ③ 経費節減、収入増加の方策
- ④ 事業計画・予算のあり方

(2) 通常総会、理事会(7回)、臨時理事会、運営委員会(16回)の開催

神奈川子ども未来ファンドの各種事業の円滑実施のために、通常総会、理事会及び理事懇談会、運営委員会を開催しました。

1) 通常総会

日 時： 2010年5月28日(金) 19時～20時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 2009年度事業報告について、2009年度収支計算書について、
2010年度事業計画について、2010年度収支予算書について
2011年助成選考委員について

2) 理事会

①第1回

日 時： 2010年5月11日(火) 19時～21時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 2009年助成事業報告について、2009年度事業報告案・決算案について
2010年度事業計画案・収支予算案について、2011年助成選考委員候補者について
2010年度通常総会について

②第2回

日 時： 日時：2010年5月25日(火) 18時半～21時
場 所： 神奈川県青少年センター別館青少年サポートプラザ
議 題： 2010年度事業計画案・収支予算案について

③第3回

日 時： 2010年5月28日(金) 18時半～21時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 理事長、副理事長の選出について

④第4回

日 時： 2010年12月14日(火) 18時半～21時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： 中期検討会議の報告、ファンドの運営構造、経費節減、収入増加の方策について

⑤第5回

日 時： 2011年1月20日(木) 18時半～21時
場 所： 神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ
議 題： ファンドの運営構造、経費節減、収入増加の方策について、2011年度事業の検討

⑥第6回

日 時： 2011年2月2日(水) 18時半～21時
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： ファンドの運営構造、収入増加の方策について、2011年度事業の検討

⑦第7回

日 時： 2011年3月17日(木) 18時半～21時
場 所： 神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ
議 題： 2011年助成対象団体の決定、2011年助成選考委員について(方針の承認)、神奈川子ども未来ファンドの運営構造について、2011年度事業計画案・収支予算案について2011年度通常総会、2011年度助成贈呈式・報告会の開催について

3) 理事懇談会

日 時： 2010年10月11日(月) 16:00～18:00
場 所： かながわ県民活動サポートセンター
議 題： ファンドの運営状況報告、ファンドの収支構造について

4) 運営委員会 (全 16 回)

2010 年 4/8、4/22、5/20、6/10、6/24、7/15、8/12、9/9、10/14、11/18、12/9、
2011 年 1/13、1/27、2/10、3/10、3/24

(3) 各種インターン(SSCS、夏季、職業訓練)、若者の社会体験ボランティアの受入れ

1) 市民社会創造ファンドSSCSインターンプログラム受け入れ (2010 年 7 月～2011 年 6 月)

大学・大学院やさまざまな場で学ぶ若者が、NPO でのインターン活動を行い、社会的な視野と志を持つ「市民社会人」として成長することを願って行われるプログラム SSCS インターンシップ奨励プログラムから、第8期生を2名受け入れしました。「子どもの居場所情報箱」の更新作業、各種イベントでの広報・募金活動、助成選考事業など様々な事業を体験してもらっています。

2) 夏季大学インターン生の受入れ (7～9 月)

アクションポート横浜のプログラムに協力し、1名のインターン生の受け入れを行い、「子どもの居場所情報箱」の更新作業、各種イベントでの広報・募金活動などの活動体験をしてもらいました。

3) 職業訓練生の受入れ (11 月)

学校法人岩崎学園のプログラムに協力し、職業訓練生を 24 日間受け入れしました。職業訓練で学んだスキルを活かして、NPOデータベースのフォーム作成や各種入力作業やデータ加工を担当してもらいました。

4) 若者の社会体験の機会としてのボランティア受入れ (通年)

横浜若者サポートステーションの事業に協力し、若者の社会体験の機会としてボランティアの受け入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動に参加してもらいました。

以上